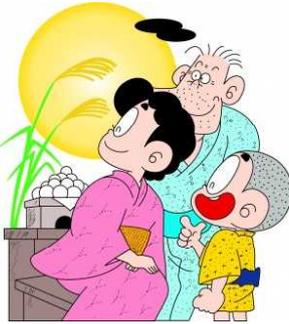


「ある雑誌に、『今年もあと3ヶ月』とありました。早いですね〜。」

生徒指導通心
第15号

縁(えん)

妻ヶ丘中生徒指導部
令和4年9月9日発行



9月も第2週が終わりました。週前半は、台風の影響を受けましたが、その後は、夏の暑さを感じさせる晴天が続きました。しかし、朝夕は涼しさを感じるようになり、少しずつ季節は『秋』へと向かっていることを感じさせます。

さて、皆さんは『十五夜(じゅうごや)』という言葉聞いたことがありますか。それでは質問です。今年、**十五夜は、9月何日でしょうか。**生徒玄関の前に、『今年、十五夜は、9月〇日です』と書いてあります。下校時にチェックしておきましょう。ちなみに十五夜とは、**一年で最も美しいとされている「中秋(ちゅうしゅう)の名月(めいげつ)」を鑑賞しながら、収穫などに感謝する行事**とあります。では、「中秋の名月とは?」。国立天文台ニュースから引用すると「**太陰太陽暦の8月15日の夜に見える月のこと**」とありました。「太陰太陽暦」とは?…ここからは、皆さんで調べてみて下さいね。

2学期がスタートして2週間。ようやく生活リズムが元に戻って来た頃ではないでしょうか。それと同時に、疲れも出てくる頃だと思います。「名月」と言われるほど、美しい月が見えることが期待される「十五夜」に、ちょっと外に出て月を眺める時間や余裕も必要かも知れませんね。たまった疲れを癒やす週末です。体調管理に十分気をつけながら、この週末を過ごして下さい。

★集団生活を考える・・・★

皆さんは、イソップ童話に出てくる「アリとキリギリス」の話を知っているでしょうか?大筋をとらえれば、このような話です。

夏の間、アリたちは冬の食料を蓄えるために働き続ける。キリギリスは、『**食べ物はたくさんあるのに、あくせく働くなんてばかばかしい**』とアリをあざ笑い、バイオリンを弾き、歌を歌って過ごす。やがて冬が来て、キリギリスは食料を探すが見つからず、アリが食料を集めていたことを思い出し、分けてもらおうとアリの家を訪ねる。

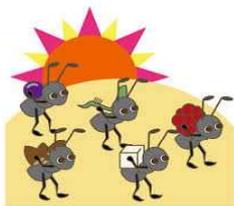
キリギリスは、夏に働いていたアリをからかったことを思い出し、分けてはもらえないだろうと思っていたが、アリは「どうぞ食べて下さい。その代わりに、キリギリスさんのバイオリンを聞かせて下さい」と言ってくれた。

キリギリスは、涙を流して喜び、張り切ってバイオリンを弾いた。そして、次の年の夏からは、真面目に働くようになった。



働き者のアリのように、**真面目にコツコツと頑張ることの大切さ**を教えてくれています。

では、「アリは本当によく働くのでしょうか?」と言うことですが、様々な研究から、たいへん興味深い結果が報告(諸説ありますが)されていました!



「働きアリの法則」というのがあります。100匹の働きアリを細かく観察すると、そのうちの**2割がよく働き、6割が普通に働き、2割が全く働かない状態になる**そうです。

ならば、働かないアリ2割を取り除けば、精鋭の集団になると思われるかも知れません。そこで、働かないアリ2割を実際にそこから取り除くとどうなるでしょう?なんと、残った8割のうち、**2割が良く働き、6割が普通に働き、2割が再び全く働かないようになる**そうです。常に「2:6:2」の比率になるということです。

これが人間の**実社会における集団においても当てはまる**ことから、この**2:6:2の状態**を「**働きアリの法則**」と呼ぶそうです。

よく働くアリ・普通に働くアリ・働かないアリのどのタイプのアリだけを集めても、最終的には「**2:6:2**」になるそうです。また「働かないアリ」については、こう書かれています。

働かないアリは、働きアリと交代することがあり、次のような働きで集団を維持してくれる。

- ① 働きアリが疲れる。
- ② 働かないアリが交代し、働きアリが休む。
- ③ 働かないアリが働きアリに切り替わり、よく動くようになる。
- ④ 集団の生活を維持する。
- ⑤ ①～④を繰り返す。

いかがでしたか。イソップ童話、アリの研究・・・から感じたことは何ですか?考え方は、人それぞれです。ただ、皆さん一人ひとは、**集団の一員として「集団を維持する存在=かけがえのない存在**」ということです。読んでもらって、「**集団生活へのヒント**」や、もっと大きく言えば「**生き方のヒント**」として考えてくれる材料になれば嬉しいです!。それでは、有意義な週末を・・・。

